

謹賀新年 今年もよろしくお祈りします。



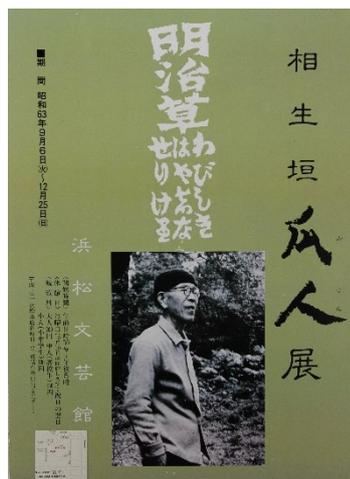
厳しい寒さの中、平成27年がスタートしました。今年も、多くの皆様に楽しくご利用いただける『浜松文芸館』でありたいと思います。

現在、4月の移転に向けて収藏品・資料等の確認作業を進めています。多くの貴重な資料を見るたびに、文芸館の存在意義を改めて感じます。

特別収蔵展 開催中

平成27年3月3日(火)まで

「ポスターで見る 浜松文芸館のあゆみ」



ポスターと多くの資料から、『浜松文芸館のあゆみ』を振り返ろうと企画した展示会です。昭和63年4月に開館した『浜松文芸館』。第2回の展示は、俳人『相生垣瓜人展』でした。

「相生垣瓜人」(1898~1985)は、兵庫県生まれ。東京美術学校卒業後、大正9年に静岡県立浜松工業学校図案科教諭として赴任。昭和3年から「ホトトギス」に投句を始める。その後、水原秋桜子の思潮に魅力を感じ、昭和6年に「馬酔木」の同人となる。

戦後、昭和25年百合山羽公と共同主宰で「海坂」を創設。

(「海坂」は、平成27年1月で通巻第826号になる。)

瓜人は、昭和36年に馬酔木賞、昭和51年に生涯の句作の集大成

〈第2回 ポスター〉である『明治草』により蛇笏賞を受賞した。

《浜松文芸の先駆者 参考資料より》

文芸館の四季

文芸館の屋上(現在は立ち入り禁止)に出ると、文芸館を包むような浜松城公園の緑の向こうに、浜松城を見ることができます。また、空気の澄んだ日には遙か彼方に美しい富士山の姿も望むことができます。



文芸館が「勤労青少年ホーム」であったころには、多くの人たちが屋上から浜松城や富士山の姿を眺めたのではないのでしょうか……。

文芸館の周りの自然も、寒さに耐え、今は静かに春の訪れを待っているようです。そんな中、たくさんの小鳥とタイワンリスが木立の中を元気に動き回っている姿が見られます。



井上靖と浜松 8

生きる力を与えてくれる「あすなろ」の悲しみ

「あすなろ物語」には、浜松中学時代の勉強ばかりしている秀才鮎太がやや誇張して描かれているが、沼津中学校へ転校後は「夏草冬濤」に描かれているように、文学好きの仲間と交わり成績が急降下していく。しかし、三島から通学していた2年生の時は優等生であったようである。三島からの通学仲間増田潔は、「井上の成績は相当上の方であったようだ。(略) 一つの学期のことか忘れたが、井上は四番だという事を聞いたことがあった。兎に角われわれより遥かに成績はよかつたらしい」と書き、次のようにつづけている。

国語の試験が済んだ日、例によって一緒に帰途につくと、井上はその掌をひろげて私に見せた。その掌には、さき程書いたと思われる試験の解答が一面に万年筆でかき込んであった。彼はそれを見ながら、ここはこう書いた、この熟語はこう解釈した。どうだあたっているか、お前はどの書いたかと畳かけて聞くのであった。私は彼の説明を聞いて、その解答の綿密、精確なのに驚いた。これはとてもかなわないなと思った。(『「夏草冬濤」の悪童たち』)

靖の小説家としての資質が、このエピソードからもよくうかがえる。

井上靖は『「あすなろ物語」について』という文章のなかで、「あすは檜になろう、あすは檜になろう」と毎日のように念願しているが、永遠に檜になれない翌檜の木の持つその悲劇的な性格に強く心惹かれてあすなろをみてきた。しかし、後年になって下北半島の羅漢柏の「あすなろ」の大群落をジープで走った時、これが真物のあすなろだと知ったが、「私には伊豆のあすなろの方があすなろらしく思われる」と書いている。

新潮文庫の解説で、亀井勝一郎は次のように記している。

「天に達しない」人間の限界への認知をひそかにふくみながら、しかも「天に達しよう」ともがく青春の憧憬に宿る美しい悲しみと考へてもよかろう。未来に対しては誰も自信はないのだ。自信とは空想である。それにも拘らず「檜」であることをのぞむ人間の努力と夢の切なさを「あすなろ」の説話は象徴しているようである。

宮本輝は中学2年の5月、近所の人から「あすなろ物語」を借りた。その夜母が親戚の家で睡眠薬自殺をはかった。何日も家を空けていた父がふらっと帰ってくるや、そこへ従兄が飛び込んできて、母の自殺と助かる確率の低いことを告げた。彼は従兄の手を振り切って文庫本を手に押し入れに隠れた。間もなく病院から帰ってきた父が「お母ちゃん、死ねへんかった」と告げた。

私は身を震わせて泣いた。うれしくて、しあわせで、いったい何に感謝していいのかわからなかった。押し入れの中で、ひとしきり泣いたあと、私は「あすなろ物語」を読み始めた。一睡もせず、私は読み終え、小説とはなんとすばらしいものだろうかと思った。(「本を積んだ小舟」)

「あすなろ物語」は一人の薄幸の少年を、立派な小説家にしたのである。